

乳房炎の発生防止 に努めましょう！

【 乳房炎予防ポイント 】

搾乳作業の見直し（裏面参照）

細菌感染の防止

- ・過搾乳に注意するなど、乳頭を傷めない搾乳をしましょう



乳房炎の早めの発見と対応

- ・定期的にPLテストを行い、牛群検定成績も参考にしながら、乳房炎の早期発見と治療を行いましょう

乳房炎に負けない健康な牛に

- ・定期的なビタミンの投与、牛床の乾燥、こまめな蹄削が大切です

【 乳房炎牛への対策実施例 】

・ 乳房炎牛を最後に搾乳

ライナー汚染で他の健康な牛への感染を防止するためです

・ 乳房炎牛専用のタオル・バケツなどを用意

・ 搾乳手順の改善

ユニットを牛の横に運んでから搾乳を開始

1乳頭5回の前絞りの実施

乳頭のためのタオル清拭

潜在性乳房炎とは、
乳房炎症状を示さずに
牛群検定成績で

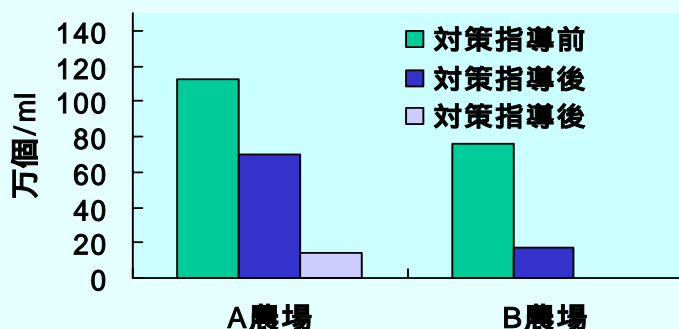
**体細胞数10万個
/ml以上**

の牛のことです。

・ 潜在性乳房炎牛は乾乳期に治療

今の段階で症状がない場合でも、早めに乾乳し治療することをお勧めします

乳房炎牛の対策指導前後の
バルク乳中の体細胞数の変化



潜在性乳房炎のうち黄色ブドウ球菌(SA)は **伝染性乳房炎** の原因菌です。

推奨されている搾乳ポイントを確認し、乳房炎を予防しましょう！

【 搾乳手順(改善ポイント) 】

搾乳の準備

ユニットを牛の横に運び、準備を整えてから
搾乳に取掛かりましょう

前 搾 り

1乳頭5回を確実に 行いましょう
・刺激が十分でないと搾り残しや過搾乳の原因になります

清 拭

乳頭のみ ・ 1頭1布
・確実に消毒したタオルで清拭しましょう
・乳房も拭くと、乳頭を汚す可能性があります

乳頭を乾かす

ライナーズリップ防止 になります

ユニット装着

前絞りから 60～90秒後を目安にユニット装着
しましょう
・乳頭刺激によって催乳ホルモンが放出され、牛乳が出るまで
約1分かかるといわれています

ユニット離脱

クローの乳量を確認し、過搾乳を防止 しましょう
・5分以上の搾乳は過搾乳の可能性がありますが

ディッピング

細菌の増殖を防止 しましょう

